



Kochira 富士校長室

令和2年4月6日

第9号

富士高等学校

富士高等学校附属中学校

統括校長 野村公郎



富士マスコット「りすはかせ」

本日、晴天の佳き日、放送による始業式を実施しました。新型コロナウイルス感染拡大防止対応のため、午前と午後の分散登校でしたが、生徒が登校して、久々の元気な学校です。

令和2年度 始業式 式辞

新型コロナウイルス感染により、お亡くなりになられた方々に哀悼の意を表すとともに、療養等で戦っている方々の早期回復を願っています。このような日々を誰もが想像しなかったと思いますが、普段何気なく行われていた物事が、そうでなくなることがあるということをしかりと受け止め、日々ある一つ一つのことを大切にしてもらいたいと思います。通常の生活ができない状況にあって、富士生である自覚と節度ある行動で、感染拡大の防止に努め、この難局が終息するようにしなければなりません。

さて、富士高校は本年度で、創立100周年となります。先輩方の活躍により、地域に愛され、伝統が脈々と息づいている進学校となりました。しかし、100年もの年月を経る中で、関東大震災や第二次世界大戦等、勉学を継続することが困難な時世にあって、富士の生徒は、学ぶ気力を失わず、学習する場所を求め、寸暇を惜しんで、自らの能力と可能性を最大限に伸ばして、その力を社会貢献に活用してきました。世界をリードする未来志向の責任ある富士生であったのです。君たちは、その力を受け継いでいるのです。富士は、自主自律、文武両道の精神の下、教育目標に、

① 知性を高め、教養を深める ② 品性を養い、感性を磨く ③ 自ら判断し挑戦する精神を高める
を掲げて、生徒を育成しています。

自分の目指す道を見失ったときは、「知性と教養」「品性と感性」「判断と挑戦」この言葉を大切にして、原理原則に立ち返り、そして再び前を向いて進んでください。

今年卒業した生徒も、ほぼ全員が大学入試センターに臨み、半数以上の生徒が5教科選択に挑戦し、新型コロナウイルス感染拡大防止対応のさなか、国立大学二次試験を受験し、中高一貫教育校となってから最高の結果を残しました。大切なのは、日々の学習に向かう学びの姿勢と、より困難な道を選択し、諦めずに自己の希望を貫くことです。

高校生は、将来の大きな夢に向かってあえて困難な道を選択し、自己の力を大いに発揮してほしい。そして、中学生は、自己の可能性を高めるための力をしっかりと身に付け、能力を最大限に発揮するための準備に日々努力してもらいたい。富士生は、何事にも挑戦し、失敗してもグッドトライ、そしていつかはブレイクスルーです。いつでもいつまでも挑戦できる気力と体力を身に付けてください。

明日から臨時休業となります。生徒の安全第一、そして、君たちのご家族の安全第一のための措置です。新型コロナウイルス感染拡大防止のために、今、一人一人が何をなすべきかを考え、節度ある行動をお願いします。新型コロナウイルスに臆病になる必要はないですが、正しく怖れる必要があります。そのためには、正しい情報を確実に取得する能力と、過去、先人が難局を乗り越えてきた事実、つまり古典に精通すること、そして、最先端の科学技術から身に付けた能力を生かし、イノベーションを起こすことが必要です。この難局を乗り越え、世界のリーダーとして、活躍できる素養を身に付けてもらいたいと願っています。そして、何より、今回の新型コロナウイルスに関して、言われなき差別や偏見等で悲しい思いをしている人たちがいます。そういった課題にも立ち向かう優しさと勇気をもった富士生として成長することを期待しています。